

# 2021年

# あけまして おめでとうございます!



12月16日 議会から村に対し「令和3年度予算への提言書」を渡しました。

## (新)粒良脇トンネル工事もスタートします!



12月11日 飯田建設事務所による(新)粒良脇トンネル工事の詳細説明がありました。



**(仮称)151号粒良脇トンネル**

施工イメージ図

飯田建設事務所 建設課 建設第一係



2021年(令和3年)1月15日

7号

# 議 会 だ よ り

第4回定例会議会概要 ……2~3ページ  
 一般質問 ……4~9ページ  
 飯伊市町村議会議員研修会に参加して ……10ページ

県要望活動について ……11ページ  
 議会 今後のスケジュール ……11ページ  
 議長コラム・編集後記 ……12ページ

# 第4回 下條村議会定例会

- ◎村長・議会議員選挙の公費負担が拡張、議員にも供託金制度が導入される条例が可決。
- ◎任期満了による選挙管理委員会委員と補充員を選出。
- ◎主にコロナ関連の費用を増とする補正予算(第5号)を可決。

令和2年第4回定例会は、12月9日に召集され、16日までの8日間の会期で行われました。

条例の新規定が1件、条例の改正が5件、選挙管理委員会と補充員の選挙1件、補正予算2件、意見書の発議3件が提出され審議の結果12件を承認/可決し閉会しました。

## ▼一般質問は、議員6名より

初日に行われた一般質問はP4以降に詳細が掲載されています。

## ▼条例の新規定

●下條村議会議員及び下條村長の選挙運動における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

地方議会議員の「なり手不足」の深刻化に対し、町村の選挙における立候補の環境改善をするため、都道府県及び市を対象としてきた選挙公営を町村にも同様に拡大する内容の条例を新たに制定するもの。

これにより次回の村の選挙から「選挙運動

## 用自動車の使用」「選挙運動用ビラの作成」

「選挙運動用ポスターの作成」が公費負担になり、併せて議員には供託金制度(15万円)が導入されます。

## ▼条例一部改正(専決処分含む)

○一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について(専決処分)

人事院勧告に準拠した勤勉手当の改定で、令和2年12月期の支給分は百分の130を乗じて算出するところを百分の125として0.05月分の引き下げを行い、令和3年4月期以降の支給分は

## 特別職の職員の給与

に関する法律の一部が改正され、令和2年12月支給分の期末手当に百分の170を乗じて算出するところを百分の165とし令和3年4月期以降は百分の167・5に標準化するもので、令和2年11月30日付けで専決改正したものを承認しました。

## ○特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例について(専決処分)

特別職の職員の給与に関する法律の一部が改正され、令和2年12月支給分の期末手当に百分の170を乗じて算出するところを百分の165とし、令和3年4月期以降は百分の167・5に標準化するもので、令和2年11月30日付けで専決改正したものを承認しました。

## ○議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について(専決処分)

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について(専決処分)

## ●下條村国民健康保健

税条例の一部改正について

## ●下條村後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

文言の変更が主な内容で「特例基準割合」を「延滞金特例基準割合」とするも

期末手当に百分の170を乗じて算出するところを百分の165とし、令和3年4月期以降は百分の167・5に標準化するもので、令和2年11月30日付けで専決改正したものを承認しました。

の。審議のうえ可決。

## ▼人事案件

●下條村選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

令和2年12月23日をもって任期満了となる選挙管理委員会委員4名、補充員4名をそれぞれ選挙にて選出し同意しました。

任期は、令和2年12月24日から令和6年12月23日までの4年間です。



選挙管理委員会委員			同 補充員		
投票区	氏名	地区	順位	氏名	地区
第1	福沢 舜崇	桃立	1番	古田 淳二	上野原
第2	中島 邦雄	山一東	2番	古田 勝	北平
第3	古田 佳子	原平	3番	久保田美與	山二
第4	熊谷 善司	合上	4番	中村 房子	小松原

## ▼補正予算

○一般会計(第五号補正)

《4200万円を増額》  
総額37億6300万円に  
【歳入の主なもの】  
地方交付税を3264万円、単独災害復旧事業債750万円等を増額。

【歳出の主なもの】  
抗菌介護用ベッド購入補助など新型コロナウイルス感染症対応関連予算(別表のとおり)が2197万3千円、橋梁修繕工事が2千万円減額となったため

年度予定していた橋梁点検業務委託料と修繕工事詳細設計委託料を本年度実施することとし2514万円の増額、7月豪雨災害による公共土木災害村単独復旧工事を410万円の増額計上しました。事前にその内容の詳細を各課課長より説明を受けたうえで審議に臨み、原案どおり可決しました。

## ○下條村営水道特別会計(第三号補正)

《310万円の増額》

総額1億500万円に  
歳入は加入者の増により加入負担金を72万円の増、工事増により工事負担金を266万円増額、一般会計繰入金を水道災害復旧工事の減により29万円減額しました。

歳出では緊急の修繕箇所が増えたため維持管理経費を120万円の増、工事個所の増により給水管付設工事が

## 第4弾 下條村新型コロナウイルス感染症の影響に伴う主な支援(5号補正)

令和2年12月16日現在

区分	支援施策名等	支援対象	所管	支援・事業内容	事業費	窓口
参考	第1~3弾		国・県		417,122,000円	
			村		283,471,000円	
個人・世帯向け	帰省学生抗原検査補助	帰省学生	村	学生が安心して帰省できるよう抗原定量検査に加えPCR検査費用を上限18,000円補助	165,000円	村 総務課
事業者向け	福祉施設感染対策支援事業	光の園、みんなの家	村	抗菌対応介護ベッド購入補助(光の園34台、みんなの家7台)	16,680,000円	村 福祉課
	飯伊包括医療協議会負担金	飯伊包括医療協議会	村	新型コロナウイルス感染症対策における地域医療への支援	718,000円	飯田市
	感染症対策機器等導入支援補助金	事業者	村	感染症対策機器等導入費用の70%上限10万円	4,000,000円	村 振興課
その他	下條産そば販売減対策	そば組合	村	製粉所新築設計業務委託料等	410,000円	村 振興課
5号補正計					21,973,000円	
合計	村単独事業(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金・地域支え合いプラスワン消費促進事業含む)				305,444,000円	
	国・県補助事業				417,122,000円	
	計				722,566,000円	

## 村単独事業

260万円の増、現年発生水道災害費を36万円の減とし、審議のうえ原案どおり可決しました。

## ▼陳情

「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書」

民生福祉委員会に付託、委員会内で採択、本会議でも全員賛成で「採択」

## ▼議員発議

●「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」

## 【可決】

●「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」

## 【可決】

●「防災・減災、国土強靱化対策の継続的な推進を求める意見書」



申原 稔博 議員

# 『新型コロナウイルス感染症の影響に伴う支援の状況と今後の支援策について』

村長

「プレミアム商品券」は高い利用率で村内事業者の活性化、村民の生活支援に重要な役割を担っている。12月の補正予算で示した5件の施策のほか、今後も感染状況を見極めながら必要な支援をしていく。

（回答）金田村長  
『持続化給付金』については、90件、1800万の予算計上をし、現在ま

個人・世帯向け給付として発行した『プレミアム商品券』の成果は確実に上がっているか？

● 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う支援については、村単独事業として個人・世帯向けや事業者向けの幅広い様々な支援を行っているが、その中で次の支援策について現在までの支援の状況とそれに対する成果について質問します。

● 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う支援については、村単独事業として個人・世帯向けや事業者向けの幅広い様々な支援を行っているが、その中で次の支援策について現在までの支援の状況とそれに対する成果について質問します。

高解像度降水ナウキャストや県河川砂防情報危機管理型水位計及び、先月竣工した村独自の防災気象情報収集システムを適宜確認し早め早めの避難情報の提供に努めたいと思います。また長野気象台とのホットラインを活用し避難解除するにあたり、オンラインによる村長への助言を頂くなど、平時から顔の見える関係を構築してきた事が有事の際に機能した事を確認できました。

● 大雨特別警報当時の危機対応は詳細に確認できました。緊急時の村の対応を知る事は地域自主防災の備えに活かせると思います。現状の地域防災は区長、常会長が兼務し一年で交代してまいります。この事についてどのように変革していきますか。

● 新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、これからも新型コロナウイルスの感染リスクと背中合わせの生活を送って行かなくてはならないが、今後の村の支援策についてどう考えているか質問します。

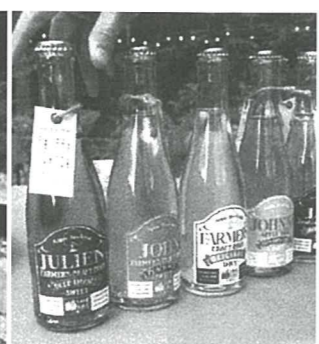
（回答）金田村長  
今後の支援についてですが、当面の支援策としては今回の12月補正でも示した5件の施策（※P3の表を参照）に取組んでいきます。その後の支援策については、新型コロナウイルス感染症の影響について、その時々に見極め必要な支援をスピーディーに行っていきます。

（回答）金田村長  
プレミアム商品券については、発行の時期や発行数、プレミアム率については未定ですが、商工会と相談しながら次年度も事業継続の方向で考えていきます。

（回答）金田村長  
東南海地震の下條村想定震度は平成27年3月公表資料において震度6弱となっています。建築基準法における耐震基準は昭和56年の法改正により住民住宅については既に振興課建設係の方で耐震改修補助事業を実施しております。村指定の避難所は各地区集会所となり、昭和三十九年以前の建築物を洗い出すと現時点6か所該当します。大半の施設は平屋建てで重量屋根施設は少ないとみえますが、再度建築年度の調査と耐震診断の必要性を検討し必要に応じて改修を検討します。



《☆誘客イベント例》 (株)道による「CIDER & MUSIC & BBQ」



おおぐて湖での音楽イベント "nu position"



田中 兼次 議員

# 『自主防災組織の整備強化について』

村長

住民の方で地域防災に協力していただける方について認定資格や各種研修の補助をしていきたい。

## 7月8日大雨特別警報発表時前後における村の対応

5時50分	総務課長、防災担当登庁 状況確認
6時00分	各課1名連絡員の参集 情報収集警戒本部設置 時間雨量50mm/h
6時30分	職員一斉配備召集 (16名) 振興課員召集 土砂災害警戒情報発表
6時40分	防災無線により宅内の垂直・水平避難の呼びかけ
6時43分	大雨特別警報発表
6時45分	小中学校休校、保育園休園を決定
7時00分	災害対策本部設置 急傾斜地居住対象者131世帯352名に避難指示発令 消防団詰所待機を指示
7時25分	県リエゾン配備
8時40分	村内被害状況巡視 (村、消防団) 避難者3世帯4名受け入れ
9時30分	床下浸水3戸、宅地への土砂流入3戸を把握
11時30分	長野気象台との zoom 会議
11時40分	大雨特別警報→大雨警報
11時45分	避難指示解除 自主避難所継続開設
12時00分	消防団待機解除
12時27分	避難者全員帰宅
(6/30~7/15) 総雨量644mm 最大時間雨量50mm7月8日5時~6時	

今年7月豪雨では下條村に初めて大雨特別警報が発出されたが、発出時前後の危機対応はどの様な対応であったのでしょうか。

（回答）金田村長  
令和2年度7月豪雨災害の概要  
7月3日から7月31日にかけて、日本付近に停滞した前線の影響で各地に大雨をもたらしました。特に6日から8日にかけて断続的な降雨は記録的大雨となり長野県を含め7県に大雨特別警報を発表するに至り、最大限の警戒を呼びかけました。

（回答）金田村長  
今年7月豪雨では下條村に初めて大雨特別警報が発出されたが、発出時前後の危機対応はどの様な対応であったのでしょうか。

（回答）金田村長  
大雨特別警報発表時前後の対応は詳細に確認できました。緊急時の村の対応を知る事は地域自主防災の備えに活かせると思います。現状の地域防災は区長、常会長が兼務し一年で交代してまいります。この事についてどのように変革していきますか。

（回答）金田村長  
昨年12月議会後、この現状と課題について担当部署に検討を指示しています。議員地元では隣近所で構成された5つの班で避難・安否確認を行い責任者たる班長は互選で任期3年として「近助」での自主防災組織を確立されており大変参考になりました。村では住民の方で地域防災に協力して頂ける防災士や自主防災アドバイザー等の認定資格や各種研修を補助して自助、共助の根幹となる地域防災力の向上を推進したいと考えています。防災士は民間資格で特定の権利や行動の義務付けはありませんが重要な防災人材として消防団員の様な特別職と位置付けも見据え防災士制度の普及に努め、村の防災会議では地域の防災士や防災アドバイザーを交えて情報共有、意見交換を行い、住民の防災意識を高めていく。将来の東南海トラフ地震の減災に取り組んでまいります。尚、各常会単位では人数や年齢構成の違いもあり、分館単位で導入し地域

（回答）金田村長  
東南海地震の下條村想定震度は平成27年3月公表資料において震度6弱となっています。建築基準法における耐震基準は昭和56年の法改正により住民住宅については既に振興課建設係の方で耐震改修補助事業を実施しております。村指定の避難所は各地区集会所となり、昭和三十九年以前の建築物を洗い出すと現時点6か所該当します。大半の施設は平屋建てで重量屋根施設は少ないとみえますが、再度建築年度の調査と耐震診断の必要性を検討し必要に応じて改修を検討します。

（回答）金田村長  
東南海地震の下條村想定震度は平成27年3月公表資料において震度6弱となっています。建築基準法における耐震基準は昭和56年の法改正により住民住宅については既に振興課建設係の方で耐震改修補助事業を実施しております。村指定の避難所は各地区集会所となり、昭和三十九年以前の建築物を洗い出すと現時点6か所該当します。大半の施設は平屋建てで重量屋根施設は少ないとみえますが、再度建築年度の調査と耐震診断の必要性を検討し必要に応じて改修を検討します。

（回答）金田村長  
東南海地震の下條村想定震度は平成27年3月公表資料において震度6弱となっています。建築基準法における耐震基準は昭和56年の法改正により住民住宅については既に振興課建設係の方で耐震改修補助事業を実施しております。村指定の避難所は各地区集会所となり、昭和三十九年以前の建築物を洗い出すと現時点6か所該当します。大半の施設は平屋建てで重量屋根施設は少ないとみえますが、再度建築年度の調査と耐震診断の必要性を検討し必要に応じて改修を検討します。

（回答）金田村長  
東南海地震の下條村想定震度は平成27年3月公表資料において震度6弱となっています。建築基準法における耐震基準は昭和56年の法改正により住民住宅については既に振興課建設係の方で耐震改修補助事業を実施しております。村指定の避難所は各地区集会所となり、昭和三十九年以前の建築物を洗い出すと現時点6か所該当します。大半の施設は平屋建てで重量屋根施設は少ないとみえますが、再度建築年度の調査と耐震診断の必要性を検討し必要に応じて改修を検討します。

（回答）金田村長  
東南海地震の下條村想定震度は平成27年3月公表資料において震度6弱となっています。建築基準法における耐震基準は昭和56年の法改正により住民住宅については既に振興課建設係の方で耐震改修補助事業を実施しております。村指定の避難所は各地区集会所となり、昭和三十九年以前の建築物を洗い出すと現時点6か所該当します。大半の施設は平屋建てで重量屋根施設は少ないとみえますが、再度建築年度の調査と耐震診断の必要性を検討し必要に応じて改修を検討します。

（回答）金田村長  
東南海地震の下條村想定震度は平成27年3月公表資料において震度6弱となっています。建築基準法における耐震基準は昭和56年の法改正により住民住宅については既に振興課建設係の方で耐震改修補助事業を実施しております。村指定の避難所は各地区集会所となり、昭和三十九年以前の建築物を洗い出すと現時点6か所該当します。大半の施設は平屋建てで重量屋根施設は少ないとみえますが、再度建築年度の調査と耐震診断の必要性を検討し必要に応じて改修を検討します。

（回答）金田村長  
東南海地震の下條村想定震度は平成27年3月公表資料において震度6弱となっています。建築基準法における耐震基準は昭和56年の法改正により住民住宅については既に振興課建設係の方で耐震改修補助事業を実施しております。村指定の避難所は各地区集会所となり、昭和三十九年以前の建築物を洗い出すと現時点6か所該当します。大半の施設は平屋建てで重量屋根施設は少ないとみえますが、再度建築年度の調査と耐震診断の必要性を検討し必要に応じて改修を検討します。

# 住宅リフォーム事業の適用拡充について ／果樹共済掛金の助成拡充について



申原 寛治 議員

村長

・災害関連の復旧は住宅リフォームとは別事業で検討したい  
・果樹共済掛金を次年度より村独自に補助率引き上げを行う

●今年度から20万円以上の工事費の四分の一補助上限20万が、60万円に引き上げられた。対象工事を農地や宅地の復旧、改修に拡充してはどうか。

（回答）金田村長

住宅リフォーム事業は、平成23年度から実施して、令和元年度までで280件、補助額4570万円の実績があり、今年度から拡充した。地域振興に貢献して村民生活を支えている重要な事業だ。住宅リフォーム事業の対象は、今まで通りとして、災害関連の復旧工事は、近隣の市町村の事業等を参考に検討し、別の事業で考えていきたい。

●果樹共済掛金の助成拡充について 昨年春の凍霜害は5月時点で360万円だった

が、最終的にどのくらいの被害額か

（回答）金田村長

（収穫時に）品質低下を含め、農協の関係だけが、梨を中心に558万円になる。

●果樹共済加入率や、問題点は。

（回答）金田村長

加入者が34戸から令和元年は23戸と減った。これは収入保険制度ができ切り替えたことであり加入率はほぼ横ばいだ。令和4年度から果樹共済の見直しがあります。総合方式となることにより、掛け金が増額になることなどが問題ではないか。

●飯伊地域は農業生産額の中で果樹生産額が40%程と高い。果樹振興地域として取り上げ、掛け金補助を中信地区の50%並みに引き上げてはどうか。村独自の支援拡充はどうか

（回答）金田村長

農業共済は村の直接的な事業ではないので詳しく答えることはできないが、保険（共済）そのものは、母体が大きくないと対応が難しいのではないかと。飯伊地域全体での拡充については市町村の規模や方針があるが、（南信地域では

●金田村政の1期目を振り返りの総括はどうか？

（回答）金田村長

村民の声に耳を傾けることを心掛けながら「人口減少対策」、「農工商の活性化」、「防災・減災の推進」、「リニア後の地域づくり」の4つの公約に取り組んできたが、想像するよりはるかに世界の動きが早くその対応に追われた印象だった。

この4年間でひと通りの事に着手できたと思う。

人口減少対策は移住定住イベント等で一定の成果が出せていると考える。

農工商の活性化は特に農業を突破口に進めているがNPO法人の立ち上げもありやと始まったという気がしている。

防災・減災は防災マップの整備など進展していると思うが大雨の際の排水が限界状態にきており見直しの必要を感じている。

リニア後の地域づくりは火沢の埋め立て後の開発が中心となるが、そのイメージも

まとまり事業開始にむけた準備も粛々と進んでいる。

ひと通りの着手はできたが今後は実がなるようにしっかりとやっていかなければならない。

また、これからは単独ではなく広域連携のなかで村の独自性を発揮しつつ事業に取り組んでいき、地域全体が盛り上がるようにしていきたい。

●金田村政2期目の重点施策として特に「人口減少対策」をどうしていくか？

①若者の定住対策が重要では？

②村営住宅の賃貸料の見直しが必要では？

③他村より優位性の高い【住宅土地、住宅建設に対する助成制度】が必要では？

④村営による住宅造成を進めては？

⑤空き家情報の活用による希望者への支援を

⑥高校卒業後4割しか故郷に戻ってこない現状、【住みやすい下條村】をもっとアピールすべきでは？

町村が運営する）交通災害共済をやっているので、広域的な議論をして検討していきたいと思う。

村では基幹産業である農業の果樹栽培の維持、経営安定のために、次年度から村独自に果樹共済掛け金を20から30%補助に引き上げる。収入保険制度への加入推進のために保険料の3割補助を検討する。

（感想）

○リフォーム事業の見直しに合わせ、農地などの復旧にも適用できるよう質問しましたが、災害関連の復旧工事については、別の事業での対応を表明されました。7月豪雨により宅地への浸水被害もありました。住宅とは一体となっている宅地などの復旧にも対応の検討を要望します。

○昨年、全国でおきた農林水産業での自然災害、台風、洪水による被害額は4000億円を超え過去最高の被害額となりました。長野県でも農業共済支払

（回答）金田村長

下條村ではかねてより若者をターゲットにした定住促進施策として「出生数と転入者の増、転出者をいかに減らすか」に取り組んできたが、日本全体の人口が減少するなかでその実現は大変難しくなっている。

建築年数が古い住宅の賃貸料は飯田市の賃貸住宅料の動向を勘案して減額をしている。入居率95%を維持しており今のところ適当だと思ふ。

住宅土地と建設に対する助成制度は県内市町村と比較しても手厚いといえる。他町村より優位性をとることがだが過剰な支援合戦、人口の奪い合いは避けるべきと考えている。都市部からの移住定住に力を入れ情報発信やイベントを行っているが今年度は新型コロナウイルス感染症の影響でリモート参加のみとなっており効果が少ない状況を。2区画ほど住宅造成地を計画中で住宅メーカーのモデル住宅地も検討中。「他村より優位性」と

金額では83%が果樹被害であり（農林長野から集計）共済は被災時の大きな支えとなっています。下條村でも共済引き受け面積の40%が被害を受け、支払い共済金額も1300万円程となり（NOSA1南信下伊那支所参考資料）と大きな被害となりました。避けられない自然災害への備えを補強するため、村長は公助である共済掛金30%補助への引き上げを表明されました。引き続き、収入保険掛金補助拡充と、飯伊地域としての果樹振興の取り組み強化を要望します。



のことが民間不動産事業者へ影響を及ぼさない範囲で用地確保や紹介を行っている。

空き家棟数は現在90棟で年々増加傾向。空き家情報は所有者の意向でホームページには掲載していないが総務課企画財政係が窓口となり相談紹介に応じている。現在紹介可能物件は6棟、うち2棟が交渉中で、年間では1〜2件が成立している。空き家活用を加速するため、新たに「取り壊し」の補助制度を設け、更地として譲渡することも選択肢の一つになるように検討中。

都市部に行った若者世代に「二度離れて感じる故郷の魅力」を発信することは大変重要。「子育てしやすく」「安心して暮らせ」のどこかで働きやすい環境づくりに力を入れるとともに、平成30年度より取組中の「ゆるかなネット」で引き続き村のアピールをしていくが、若い世代の加入者が少ないため学生や転出した若者の勧誘に努めたい。

# 金田村政2期目の重点施策について 特に人口減少対策について



申原 肇 議員

村長

村内空き家を活用していきたいと思うが、新たに取り壊しについての補助制度を設け、更地として譲渡することも検討したい。

●金田村政の1期目を振り返りの総括はどうか？

（回答）金田村長

村民の声に耳を傾けることを心掛けながら「人口減少対策」、「農工商の活性化」、「防災・減災の推進」、「リニア後の地域づくり」の4つの公約に取り組んできたが、想像するよりはるかに世界の動きが早くその対応に追われた印象だった。

この4年間でひと通りの事に着手できたと思う。

人口減少対策は移住定住イベント等で一定の成果が出せていると考える。

農工商の活性化は特に農業を突破口に進めているがNPO法人の立ち上げもありやと始まったという気がしている。

防災・減災は防災マップの整備など進展していると思うが大雨の際の排水が限界状態にきており見直しの必要を感じている。

リニア後の地域づくりは火沢の埋め立て後の開発が中心となるが、そのイメージも

まとまり事業開始にむけた準備も粛々と進んでいる。

ひと通りの着手はできたが今後は実がなるようにしっかりとやっていかなければならない。

また、これからは単独ではなく広域連携のなかで村の独自性を発揮しつつ事業に取り組んでいき、地域全体が盛り上がるようにしていきたい。

●金田村政2期目の重点施策として特に「人口減少対策」をどうしていくか？

①若者の定住対策が重要では？

②村営住宅の賃貸料の見直しが必要では？

③他村より優位性の高い【住宅土地、住宅建設に対する助成制度】が必要では？

④村営による住宅造成を進めては？

⑤空き家情報の活用による希望者への支援を

⑥高校卒業後4割しか故郷に戻ってこない現状、【住みやすい下條村】をもっとアピールすべきでは？



塩沢道雄 議員

# 下條村地域防災に関わる提案

## 防災訓練の方法、防災対策、下條村地域防災計画の見直し

**村長** 来年度、第1次、第2次避難所、コロナ禍における避難所の運営、ヘリポートの新設など、下條村地域防災計画全体の見直しを行う予定

**(回答) 金田村長**  
例年の訓練実績報告によると地区によって初期消火

**(回答) 金田村長**  
毎年9月村民総参加で巨大地震を想定した避難、安否確認、伝達訓練を行っているが、この機会に、防災組織のリーダー等を対象に防災知識、人命救助など被災時対応の研修や訓練を行うメニューを加えられたい。

**(回答) 金田村長**  
災害発生時、村当局、消防団等関係機関の発動はもとより欠かせないが、住民組織による自主防災活動が重要である。村の自主防災組織の現状と組織率は？

**(回答) 金田村長**  
村内には土石流警戒区域が16箇所、急傾斜地が246箇所指定を受けている。特別警戒区域からの移転は国庫補助事業があり、また村単

**(回答) 金田村長**  
昨今の気象異常から、また起伏に富んだ村内の地形にあつて、土砂災害防止は村の重い課題である。村内の急傾斜地排水路の多くは未だ未改良であるが、作成された地区防災マップに準拠し、優先的に防災工事を進められたい。

**(回答) 金田村長**  
訓練、炊き出し訓練、救助法訓練など行われている。地区と消防団とが打ち合わせ決められている。リーダー対象の研修、訓練等は本年コロナ禍で出来なかつたが、総合防災訓練の打ち合わせ会議の折に研修を行った。避難訓練等は繰り返し行うことで身に付くので、毎年行う。また、本年、搬送訓練を予定し、消防団が廃棄ホースを使い簡易タンカを作製したが、これは各常会へ配布した。

**(回答) 金田村長**  
日赤奉仕団は炊き出しなど奉仕活動とおして被災者支援に当たっているが、村内で団員不在の常会が6地区ある。不在地区の解消に努められたい。

**(回答) 金田村長**  
村員の地震や土砂災害など防災の課題は下條村地域防災計画に基づき対応される。この計画は、「毎年検討を加え、常に有効な防災業務の遂行を図る」としているが、村の防災の今後について、災害が多発する昨今の情勢から総合的な防災業務、治山治水等の見直しをたて、下條村防災会議に図る必要がある。

**(回答) 金田村長**  
遠くでも徒歩で登下校させたいが、一人になってしまふ場所があり心配との声がある。子ども見守り隊を作つて、村じゅうで子どもの安全を見守るようにしたらどうか。

**(回答) 串原教育長**  
20年ほど前に、山田河内の老人クラブの皆さん10人位で「見守り隊」を作つ

**(回答) 金田村長**  
地域防災計画は災害基本法に基づき、必要な災害対策の基本を定めている。現計画は平成28年度に見直しを行っているが、来年度は第1次、第2次避難所、コロナ禍における避難所の運営、ヘリポートの新設など、計画全体の見直しを行う予定である。



簡易タンカが使用方法の説明を受けたうえで各常会に配布された。



**(回答) 金田村長**  
地域防災計画は災害基本法に基づき、必要な災害対策の基本を定めている。現計画は平成28年度に見直しを行っているが、来年度は第1次、第2次避難所、コロナ禍における避難所の運営、ヘリポートの新設など、計画全体の見直しを行う予定である。



丸山浩子 議員

# 誰もが気楽に集まれる場所「こどもカフェ(こども食堂)」の開設・子どもの見守りをどう考えるか

**村長** ニーズを調査し、計画してみて、村の支援の必要があれば検討する

**(回答) 金田村長**  
こども食堂、こどもカフェと称される施設の開設が各地で始まっています。南信州振興局でも平成30年1月に「南信州子ども応援プラットホーム」を設立し、子どもの居場所作りを地域全体で連携して支援しています。これに45の団体が参加していて、ホームページ掲載団体は16、このうち食事提供は7団体です。

**(回答) 金田村長**  
飯田市大瀬木の「ハッピーハウスすみちゃん家」では、現在月1回土曜日の10時から12時まで行っています。(コロナ前は月2回) コロナ禍のため、皆一緒にの食事は難しいので、市内のホテルに1個5000円で80個の弁当を作つても

**(回答) 金田村長**  
下條にもこどもカフェ(食堂)、誰もが集まれる場所がほしいとの声が上がっている。県でも「信州こどもカフェ」を提唱している。村としてはどう考えるか。

**(回答) 金田村長**  
各施設の責任者の方々から、こども食堂の開設をする前に、村に利用者のニーズがあるかどうかを把握してから始めたほうがよいのではないかと、アドバイスをいただきました。始めようという有志の方々は、まずニーズの調査をし、どのようなことを始めるのか等計画し、始めてみて村の支援が必要なことがあれば、お話ししていただければと思います。

**(回答) 金田村長**  
阿智村の「子ども応援隊ねやねや亭」では、毎月最終水曜日16時から20時に村の公民館で開いています。こども月1〜2回の開催のようです。

**(回答) 金田村長**  
下條農業女子まんま代表より「まんまカフェ」予定場所として「いきいきらんど」の一番奥の部屋を借りて、毎週水曜日13時から17時まで開きたいと申請がありました。子どもから大人まで誰でも来て、ゆっくりできる場所、話したり勉強したり趣味を行ったり自由に使える場所とのこと。子どもの学習支援や話し相手のボランティアを募集するそうです。他の使用者とバッティングがない限り、使用を許可いたしました。

**(回答) 串原教育長**  
20年ほど前に、山田河内の老人クラブの皆さん10人位で「見守り隊」を作つ

**(回答) 金田村長**  
遠くでも徒歩で登下校させたいが、一人になってしまふ場所があり心配との声がある。子ども見守り隊を作つて、村じゅうで子どもの安全を見守るようにしたらどうか。

**(回答) 金田村長**  
児童の登校を見守ることがあります。ベストを作つて活動を盛り上げましたが、全員が高齢化し、後継者がいなくなり途絶えてしまいました。村全体で子どもを育てることが大切なので「カッセイカ会議」で呼びかけてみます。



12月23日に開催された阿智村中央公民館での「ねやねや亭」クリスマスイベント



### 県に要望しました!

11月9日、南部地区議員会（阿南町、下條村、売木村、天龍村、泰阜村）で、県庁を訪れ阿部県知事に要望書を提出しました。

要望には8月28日に行われた南部地区議員会定期総会で審議された11の項目（国道151号粒良脇トンネルの改良促進に関する陳情、地域公共交通の維持支援に対する予算確保、県立阿南高校の存続を望む内容等）が盛り込まれています。

### (新)粒良脇トンネル工事について説明を受けました。

12月11日（金）、(新)粒良脇トンネル工事現場の親田入り口交差点付近で飯田建設事務所整備課および施工業者（佐藤工業（株）・木下建設（株）共同企業体）から粒良脇トンネル工事の現状と今後の予定等の詳細説明がありました。

トンネル掘削は飯田側より令和3年2月末頃から始まること、掘削作業の完了は令和5年中を予定しているが掘削中の水の出具合などの状況によって遅延も考えられること、また現状では親田方面への右折レーンが無いが完成時には設けられることなどを確認することができました。表紙のとおり具体的な施工イメージ図も示され、いよいよ始める機運が高まっています。



## 飯伊市町村議会議員研修会に参加

今年度の各種会議、研修会はコロナ禍の為開催は慎重な判断を要

したが、10月26日午後1時より下條村コスモホールにて飯伊地区議

員研修会がコロナ対策を徹底し開催された。全14市町村議員、関係者ら約20



0名が参加し「リニアを地域振興にどう活かすか」というテーマで、長野県南信州地域振興局、諏訪孝二副局長より、7年後のリニア中央新幹線開通を見据え、様々な角度からの波及効果を解説して頂いた。東京一名古屋間は約70分で結ばれ中間駅である長野県駅を含め巨大都市

圏（スーパーメガリージョン）が誕生する。推計では長野県駅の乗降客は6800人/日、旅客数（交流人口）5300人/日、経済波及効果336億円/年と見込まれる。これは観光、ビジネスを含め、外からの視点でニーズを把握し官民一体的確なコミュニケーションを行った上の数値である。また長野県駅へのアクセス道路や結ぶべき拠点への二次交通整備は重要である。伊那谷から大都市への通勤通学も夢では無く18歳以上の人口流出対策も期待できる。

新しいビジネススタイルでは自然豊かな地域でのワーケーションやリゾートテレワークなどの取組みを情報発信し、新たな居住の選択肢を提供し地域発展へ繋げたい。私見ですが下條村の

火沢地籍埋立て計画も、リニア、三遠南信道の開通を見据え魅力ある姿でコミットしたいと思います。次に「スマートシティになると議会はどう変わるのか?」というテーマで早稲田大学所、中村健事務局長より講演を頂いた。そもそもスマートシティとは何か?人工知能(AI)情報通信技術(ICT)など先端技術を活用し太陽光や風力等再生可能エネルギーで住民の健康、交通、行政サービスなどを効率的に管理、運用する次世代の都市を意味する。人口減少時代に突入する近い将来、経済活動を維持継続するにはITでカバーしなれば成り立たなくなる。特に今年はコロナ禍でテレワークやオンライン会議等、否応無し

### 議会カレンダー

(過去活動分と今後の予定)

- 10月 26日(月) 県町村議会議員研修会 (全議員)
- 11月 27日(金) 刈谷市職員への下條産農作物販売 (議長・竹村議員)
- 12月 2日(水) 12月議会 議会運営委員会 (正副議長・委員長)
- 8日(火) 12月議会 補正予算説明会 (全議員)
- 9日(水) 令和2年第4回 議会定例会 初日 (全議員)
- 11日(金) 粒良脇トンネル工事現場 現地視察 (全議員)
- 12月 2日(水) 12月議会 議会運営委員会 (全議員)
- 8日(火) 12月議会 補正予算説明会 (全議員)
- 9日(水) 令和2年第4回 議会定例会 初日 (全議員)
- 11日(金) 粒良脇トンネル工事現場 現地視察 (全議員)
- 14日(月) 総務文教産業建設・民生福祉委員会 (各委員)
- 16日(水) 令和2年第4回 議会定例会 最終日 (全議員)
- 1月 9日(土) 下條村消防団出初式 (全議員) 中止
- 13日(水) 交通安全祈願祭 (正副議長)
- 今後の予定(変更の可能性あり)
  - 21日(木) 飯田市議会主催飯伊市町村議会議員研修会 (議員全員)
  - 27日(水) 西南部地区議員研修会 (議員全員)
  - 28日(日) 消防団 任命式 (全議員)
  - 10日(水) 令和3年第1回議会定例会 初日 (全議員)
  - 18日(木) 小中学校卒業式 議員全員 (全議員)
  - 24日(水) 令和3年第1回議会定例会 最終日 (全議員)



(田中兼次)

# 議長コラム

日本の正月の風景に欠かせないのが、しめ飾りや門松といった正月飾り。今年も各家庭の玄関には手作りの素朴な「おやす」やしめ飾りがつけられ、村内の公共施設などには、匠の会の皆さんが作った立派な門松が据えられました。

そして迎えた正月に彩をそえる音風景といえば、遠く近く聞こえてくる獅子舞の笛や太

鼓の音色。門付けを待つ家では、近づく笛の音に家族の顔がほころび、近所の家々ではその雰囲気を楽しみます。

この門松と獅子舞、どちらも年賀状や新年の広告などでおなじみの正月定番の絵柄ですが、そこには共通して松竹梅の縁起物のひとつの竹が使われます。門松の芯には孟宗竹などの太いまっすくな竹

が使われ、剣の達人が斜めに断ち切ったような切り口の美しさが出る栄えを左右します。獅子舞の方は、お囃子に使われる細くて繊細な篠竹などで作った篠笛。竹に穴をあけただけ、何も装置のつかない篠笛は、微妙な息使いで独特のメロディを奏でます。

竹は大切な自然資源として建築や農業、漁業などの産業に、またタケノコは食材として使われてきました。下條村にも孟宗竹や真竹などの竹林が標高の低いところに分布しており、手が入らずに荒廃が進んでいる場所も見られます。荒廃した竹林は景観や交通の障害となり、村内では吉岡公園周辺などの竹林が整備されて景観が良くなりました。またメンマ作りや粉碎して竹肥料にするなど、資源としての活用も各地で行



われています。いま世界中で脱プラスチックが叫ばれています。樹木や竹は使います。終わっても自然に風化して、最後には微生物が土に還してくれます。環境にやさしい資源。

あけましておめでとうございます。昨年とはとにかくコロナ感染症に翻弄される一年となつてしまい、国会を訪問しての陳情や各種研修などが軒並み中止となるなど議員活動にも大きな影響がありました。当たり前のことが当たり前にできなくなるにより、その大切さを思い知る機会が増えた一年だったように思います。

まだ現時点では出口の見えにくい状況ですが、それでもワクワクン開発やウィルスに対する理解が進み、徐々に通常の生活に戻っていくと思われれます。下條村議会としても村民の皆さんがよりよい生活をおくることができるよう活動してまいります。今年もよろしくお願

いいたします。(熊谷政孝)



小松原の獅子舞

が里山を大切ににし、里山の恵みに感謝しながら営んできた生活には、自然と共生するたくさんの知恵があります。里山に竹が



- 編集委員会**
- 委員長 熊谷 政孝
  - 副委員長 塩沢 道雄
  - 委員 串原 寛治
  - 委員 串原 肇
  - 委員 丸山 浩子